

ごあいさつ Greetings

皆様、今年は忘年会を自粛していることもあり、この場を借りて年末のご挨拶をさせていただきます。

実は今日、12月21日という日は、慶友会にとって創立40周年にあたる節目の日です。40年前のこの日、前理事長・吉田威が大いなる志をもってこの法人を立ち上げました。その志とは、「生病老死」にわたって患者様と向き合う「全人的医療」の実現であり、加えて、単に病院で病を治すだけでなく、病気にならない環境づくりに向けた「健康創造の支援活動」です。今、世の中では「人生百年時代」に向けて予防医療への関心が高まっていますが、慶友会はそれよりずっと早くから時代を先取りしていたんですね。

そして予防医療への注力には、別の側面もあります。それは、医療の世界は行政当局による規制が強いゆえに、たとえ志は大きくともその実現に向けた障害も多いということです。慶應に学び、「独立自尊」という価値観を大切にしていた前理事長は、行政に頼らない自立した法人運営を目指して、「医療の質の向上」、「経営の健全化」に力を注いできました。私たちはこの「革新の遺伝子」を受け継いでいることを、改めて誇りとしなければなりません。

創業から40年を経た今、あらためて皆様へ前理事長の言葉をお伝えしたいと思います。20周年記念誌のメッセージを公表しますので、ご確認ください。

保健・医療・福祉が一体となった統合サービスを掲げ、「選ばれる慶友会」を目指し、夢を前へ進んで行きましょう。 We have a dream.

来年もどうぞよろしくお願いいたします。

noblesse o・blige

吉田 良子

2021.12.21

40th

20th

Since 1981.12.21

We have a dream

20周年記念誌 ごあいさつ



医療法人社団慶友会 理事長
吉田 威

開業するとき、10年後はこんな病院にと考えて20年経ちました。やってみなければわからない部分が多いところからのスタートでした。やってみて悪ければ撤退し、補強しながらすすんできました。想い出すと「先ずやってみる精神」しかありませんでした。細かいことは「まあ、この程度でいいか」と大胆に切り捨て、しかし将来のために「これだけは譲れない」と頑なに守ってきたものと、うまく両立したのかも知れません。

医療・福祉・保健が一体となって生活者のニーズに応え、「安心圏」の確立と「健康創造」の支援活動を目指すのが慶友会の目標です。そして「医療の質の向上」と「経営の健全化」を図る方針は一貫しておりました。

5年毎に開く全職員との「事業計画発表会」のなかで、計画がどのくらい進展しているかを確認しました。この時だけは、時の流れの早さを感じましたが、不思議に焦りはなく、職員の気魄として受け取りました。脱落者も多くでしたが、目標達成のスピードを変えることはありませんでした。

これから新たにはじまる20年は、孟子の至誠の精神（至誠にして動かざる者は、未だ之れ有らざるなり）で、ひとつの目は20年先の将来を、またもうひとつの目は足元の現実をみながら、来たるべき時代に則した「求められる医療」「求められる福祉」にいかに応えられるかを問いつづけます。

慶友会は夢をもって精進していきます。

noblesse o・blige